

盛土規制法の手引 新旧対照表 (令和8年5月改定)

現行

[練積み擁壁]

- ・ 擁壁の根入れは、35cm 以上かつ擁壁の高さの 15%以上を確保すること。

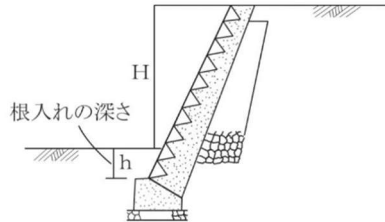


図 3-14 根入れ深さの考え方

Point

引用：図3-14 盛土等防災マニュアルの解説（盛土等防災研究会編集、初版）I P484

表 3-9 根入れの深さ

	土質	根入れ深さ
第一種	岩、岩屑、砂利又は砂、砂利混じり砂	擁壁高さ：H 35cm 以上かつ擁壁高さの 15/100 以上
第二種	真砂土、関東ローム、硬質粘土その他これらに類するもの	
第三種	その他の土質	45cm以上かつ擁壁高さの 20/100 以上

Point

- ・根入れ深さの決定に当たっては、将来予想される地盤の洗堀や掘削の影響を考慮してください。
- ・根入れによる受働土圧は設計上考慮しませんが、根入れは、長期間にわたる支持地盤の安定や滑動に対する安全性を確保する上で経験的に考慮されている事項であるため、審査項目としています。

参考：表3-9 盛土等防災マニュアルの解説（盛土等防災研究会編集、初版）I P484 一部修正

改定後

[練積み擁壁]

- ・ 擁壁の根入れは、表 3-9 の土質に応じた深さを確保すること。

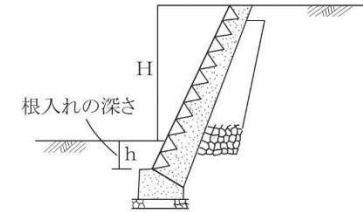


図 3-14 根入れ深さの考え方

Point

引用：図3-14 盛土等防災マニュアルの解説（盛土等防災研究会編集、初版）I P484

表 3-9 根入れの深さ

	土質	根入れ深さh
第一種	岩、岩屑、砂利又は砂、砂利混じり砂	擁壁高さ：H 35cm 以上かつ擁壁高さの 15/100 以上
第二種	真砂土、関東ローム、硬質粘土その他これらに類するもの	
第三種	その他の土質	45cm以上かつ擁壁高さの 20/100 以上

Point

- ・根入れ深さの決定に当たっては、将来予想される地盤の洗堀や掘削の影響を考慮してください。
- ・根入れによる受働土圧は設計上考慮しませんが、根入れは、長期間にわたる支持地盤の安定や滑動に対する安全性を確保する上で経験的に考慮されている事項であるため、審査項目としています。

参考：表3-9 盛土等防災マニュアルの解説（盛土等防災研究会編集、初版）I P484 一部修正

盛土規制法の手引 新旧対照表 (令和8年5月改定)

現行

[その他の擁壁]

- 鉄筋コンクリート造又は無筋コンクリート造擁壁の根入れ深さは、原則として50cm以上確保することとする。なお、底版を有する形式の擁壁においては、底版厚さに50cm以上を加えた根入れ深さを確保することを基本とする。ただし、地盤面をコンクリート等で覆う場合は、練積み擁壁の根入れ深さの考え方を適用してもよい。
- 中位の砂質地盤（N値10～30）において、高さ2.5m以上の重力式擁壁を設ける場合には、擁壁高さの0.2倍以上の十分な根入れ深さを確保することが望ましい。



図 3-15 擁壁の直接基礎の根入れ

Point

- 大臣認定擁壁を使用する場合は、仕様書に規定する根入れ深さ以上を基準とします。
- 参考：道路土工 擁壁工指針（社）日本道路協会、平成24年7月）P127～

[水路等に近接して擁壁を設置する場合]

- 水路・河川に接して擁壁を設ける場合の根入れ深さは、図 3-16 に示す河床を起点とする水平線と水路・河川境界との交点から表 3-8 に掲げる土質別角度に応じた線を引き、その角度線から取るものとする。
- 将来計画がある場合には、その河床高さ（計画河床高）を考慮すること。

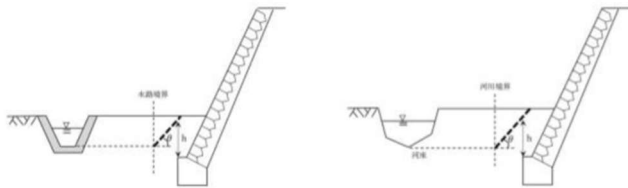


図 3-16 水路・河川に近接する場合の根入れ

改定後

[その他の擁壁]

- 鉄筋コンクリート造又は無筋コンクリート造擁壁の根入れ深さは、基礎底版が地表に露出しないよう十分な余裕をみて設定することとし、原則として35cm以上かつ擁壁高さの15/100以上（基礎地盤の土質が表3-9の第三種の場合は、45cm以上かつ擁壁高さの20/100以上）確保することとする。
- 中位の砂質地盤（N値10～30）において、高さ2.5m以上の重力式擁壁を設ける場合には、擁壁高さの0.2倍以上の十分な根入れ深さを確保することが望ましい。

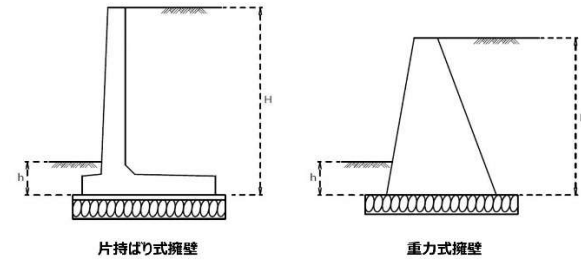


図 3-15 擁壁の直接基礎の根入れ

Point

- 大臣認定擁壁を使用する場合は、仕様書に規定する根入れ深さ以上を基準とします。
- 参考：構造図集 擁壁（社）日本建築士会連合会

[水路等に近接して擁壁を設置する場合]

- 水路・河川に接して擁壁を設ける場合の根入れ深さは、図 3-16 に示す河床を起点とする水平線と水路・河川境界との交点から表 3-8 に掲げる土質別角度に応じた線を引き、その角度線から取るものとする。
- 将来計画がある場合には、その河床高さ（計画河床高）を考慮すること。

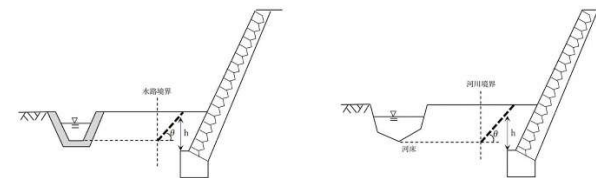


図 3-16 水路・河川に近接する場合の根入れ